

赤石川ダム 水質調査結果(12月分)。

採水日：昭和 62 年 1 月 9 日

調査項目	地点名	川平橋	ダムサイト	赤石川上流	竹の迫川	分析 方 法		
調査日時	日時	15:00	14:25	14:00	13:30	河川水質試験方法(案)		
採水水深	m	0.50	0.91	0.30	0.10			
天 候		くもり	くもり	くもり	くもり			
気 温	℃	10.0	10.0	11.0	8.5			
水 温	℃	8.0	7.5	6.5	8.0			
透 明 度	m	0.50以上	0.50以上	0.50以上	0.50以上			
水 色	水色番号	7	6	6	6			
生活環境項目	水素イオン濃度	pH/℃	7.61/15.0	7.67/15.0	7.60/15.0	7.56/14.0	4.2.1 標準法	ガラス電極法
	生物化学的酸素要求量(BOD)	g/l	0.2	0.1	0.5	0.5	7.4	標準法 一般希釈法
	化学的酸素要求量 (COD)	g/l	1.0	1.0	0.8	0.8	8.3.1	標準法 CODMn法
	浮遊物質量 (SS)	g/l	1.4	1.5	2.2	0.3	9.3.1	標準法 GFPろ過法
	溶解酸素量 (DO)	g/l	11.82	11.89	11.85	11.27	6.4.1	標準法 ウィンクラーアジ化ナトリウム変法
	大腸菌群数	MPN/100ml	130	220	330	2	51.3.1	標準法 BGLB培地直接MPN法
栄養塩類	濁度 (Turb)	度	1.3	1.1	1.0	0.3	2.3.1	標準法1 積分球式測定法
	導電率 (EC)	μS/cm	69.7	70.5	72.2	57.7	3.3.1	標準法 白金黒電極法
	総リン (T-P)	mg/l	19	20	20	25	47.2.3.2	参考法 硫酸・硝酸分解-吸光光度法
	溶解性総リン (ST-P)	mg/l	16	16	16	23	0.5 μm GFP	ろ過後 47.2.3.2 参考法 硫酸・硝酸分解-吸光光度法
	オルトリン酸態リン(PO <sub>4</sub> -P)	mg/l	14	15	14	23	47.1.3.1	標準法 吸光光度法(アスコルビン酸法)
	総窒素 (T-N)	mg/l	500	440	440	1040	46.5.3.1	標準法1 計算による方法
	亜硝酸態窒素 (NO <sub>2</sub> -N)	mg/l	4	5	5	4	46.2.3.1	標準法 吸光光度法(スルファニルアミド・ナフチルエチレンジアミン法)
	硝酸態窒素 (NO <sub>3</sub> -N)	mg/l	399	360	360	957	46.3.3.1	標準法 吸光光度法(カドミウム・銅カラム還元法)
	ケルダール態窒素 (K-N)	mg/l	100	80	70	80	46.4.3.1	標準法2に準ずる
	有機態窒素 (O-N)	mg/l	70	70	50	70	46.4.3.1	標準法2 ケルダール分解・水蒸気蒸留インドフェノール法
	総有機炭素 (TOC)	g/l					48.3.1	標準法1 高温燃焼法
	アンモニア態窒素 (NH <sub>4</sub> -N)	mg/l					46.1.3.2	標準法2 水蒸気蒸留・インドフェノール法
	総クロロフィル	mg/l					50.4.1	標準法 吸光光度法(三波長法)
	クロロフィルa	mg/l					50.4.1	標準法 吸光光度法(三波長法)
健康項目	塩化物イオン (Cl <sup>-</sup> )	g/l					39.3.1	標準法 硝酸銀(クロム酸)法
	カドミウム (Cd)	g/l					19.4.1	標準法 原子吸光法(DDTC-MIBK抽出法)
	シアン (CN)	g/l					11.4.1	標準法 吸光光度法(4-ピリジンカルボン酸-ピラソロン法)
	有機リン (O-P)	g/l					12.3.1	標準法 ガスクロマトグラフ法
	鉛 (Pb)	g/l					20.4.1	標準法 原子吸光法(DDTC-MIBK抽出法)
	六価クロム (Cr <sup>6+</sup> )	g/l					21.2.2.1	標準法1 吸光光度法(ジフェニルカルバジド法)
	ヒ素 (As)	g/l					22.3.1	標準法1 吸光光度法(Ag-DDTC法)
	総水銀 (T-Hg)	g/l					23.1.2.1	標準法1 原子吸光法(還元気化法)
	アルキル水銀 (R-Hg)	g/l					23.2.2.1	標準法 ガスクロマトグラフ法
	PCB (PCB)	g/l					13.3.1	標準法 ガスクロマトグラフ法

(注)ND：検出されず。

赤石川ダム 水質調査結果(昭和62年 1月分)

採水日:昭和 62 年 1 月 29 日

調査項目	地点名	川平橋	ダムサイト	赤石川上流	竹の迫川	分析 方法  河川水質試験方法(案)	
調査日時	日時	11:00	10:30	9:20	10:00		
採水水深	m	0.70	0.98	0.30	0.10		
天候		はれ	はれ	はれ	はれ		
気温	℃	8.0	1.0	-1.5	2.0		
水温	℃	5.5	4.5	3.5	6.0		
透明度	m	0.50以上	0.50以上	0.50以上	0.50以上		
水色	水色番号	8	6	6	6		
生活環境項目	水素イオン濃度	pH/℃	7.42/15.0	7.46/15.0	7.41/15.0	7.38/15.0	4.2.1 標準法 ガラス電極法
	生物化学的酸素要求量(BOD)	g/d	0.7	0.3	0.1	0.6	7.4 標準法 一般希釈法
	化学的酸素要求量 (COD)	g/d	1.0	0.8	0.8	0.6	8.3.1 標準法 COD <sub>Mn</sub> 法
	浮遊物質 (SS)	g/d	4.4	0.3	1.5	0.2	9.3.1 標準法 GFPろ過法
	溶存酸素量 (DO)	g/d	12.63	12.75	12.86	12.14	6.4.1 標準法 ウィンクラーアジ化ナトリウム変法
	大腸菌群数	MPN/100ml	490	49	110	2	51.3.1 標準法 BGLB培地直接MPN法
栄養塩類	濁度	(Turb) 度	3.1	1.0	1.5	0.2	2.3.1 標準法1 積分球式測定法
	導電率	(EC) μS/cm	66.9	67.6	69.3	53.1	3.3.1 標準法 白金黒電極法
	総リン	(T-P) mg/d	20	18	16	28	47.2.3.2 参考法 硫酸・硝酸分解-吸光光度法
	溶解性総リン	(ST-P) mg/d	14	16	13	20	0.5 μM GFPろ過後 47.2.3.2 参考法 硫酸・硝酸分解-吸光光度法
	オルトリン酸態リン(PO <sub>4</sub> -P)	mg/d	14	13	14	20	47.1.3.1 標準法 吸光光度法(アスコルビン酸法)
	総窒素	(T-N) mg/d	510	450	380	860	46.5.3.1 標準法1 計算による方法
	亜硝酸態窒素 (NO <sub>2</sub> -N)	mg/d	3	2	3	2	46.2.3.1 標準法 吸光光度法(スルファニルアミド・ナフチルエチレンジアミン法)
	硝酸態窒素 (NO <sub>3</sub> -N)	mg/d	411	351	340	772	46.3.3.1 標準法 吸光光度法(カドミウム・銅カラム還元法)
	ケルダール態窒素 (K-N)	mg/d	100	100	40	90	46.4.3.1 標準法2に準ずる
	有機態窒素 (O-N)	mg/d	80	80	40	40	46.4.3.1 標準法2 ケルダール分解・水蒸気蒸留インドフェノール法
その他	総有機炭素 (TOC)	g/d	1.3	1.1	1.1	0.8	48.3.1 標準法1 高温燃焼法
	アンモニア態窒素 (NH <sub>4</sub> -N)	mg/d	ND<20	ND<20	ND<20	ND<20	46.1.3.2 標準法2 水蒸気蒸留・インドフェノール法
	総クロロフィル	mg/d	1.0	0.8	0.7	0.2	50.4.1 標準法 吸光光度法(三波長法)
	クロロフィルa	mg/d	0.9	0.8	0.7	0.2	50.4.1 標準法 吸光光度法(三波長法)
	塩化物イオン (Cl <sup>-</sup> )	g/d	5.7	4.2	3.3	4.7	39.3.1 標準法 硝酸銀(クロム酸)法
	カドミウム (Cd)	g/d	ND<0.001	ND<0.001	ND<0.001	ND<0.001	19.4.1 標準法 原子吸光法(DDTC-MIBK抽出法)
健康項目	シアン (CN)	g/d	ND<0.005	ND<0.005	ND<0.005	ND<0.005	11.4.1 標準法 吸光光度法(4-ピリジンカルボン酸-ピラゾロン法)
	有機リン (O-P)	g/d	ND<0.01	ND<0.01	ND<0.01	ND<0.01	12.3.1 標準法 ガスクロマトグラフ法
	鉛 (Pb)	g/d	ND<0.005	ND<0.005	ND<0.005	ND<0.005	20.4.1 標準法 原子吸光法(DDTC-MIBK抽出法)
	六価クロム (Cr <sup>6+</sup> )	g/d	ND<0.02	ND<0.02	ND<0.02	ND<0.02	21.2.2.1 標準法1 吸光光度法(ジフェニルカルバジド法)
	砒素 (As)	g/d	ND<0.001	ND<0.001	ND<0.001	ND<0.001	22.3.1 標準法1 吸光光度法(Ag-DDTC法)
	総水銀	(T-Hg) g/d	ND<0.0005	ND<0.0005	ND<0.0005	ND<0.0005	23.1.2.1 標準法1 原子吸光法(還元気化法)
	アルキル水銀	(R-Hg) g/d	ND<0.0002	ND<0.0002	ND<0.0002	ND<0.0002	23.2.2.1 標準法 ガスクロマトグラフ法
	PCB	(PCB) g/d	ND<0.0005	ND<0.0005	ND<0.0005	ND<0.0005	13.3.1 標準法 ガスクロマトグラフ法

(注)ND: 検出されず。